



広報もとみや 号外

平成24年
9月12日発行
本宮市
秘書広報課
☎33-1111

No.22

災がうつ一年の年月

市民の皆さまへメッセージ



本宮市長
高松 義行

はじめに

昨年3月11日に発生しました「東日本大震災」から、1年6カ月が経過いたしました。あらためまして被災された皆さまや今なお避難を余儀なくされている皆さまにお見舞い申し上げますとともに、これまでに市民の皆さまをはじめ企業や各種団体の皆さまから、数多くの心温まるご支援ご協力をいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。

福島県は、地震と津波、原子力災害から復興の道を進んでいる最中であり、本宮市も力強く前へ進み、市民の皆さま全てが未来に希望をもち、震災前以上に元気を取り戻すことが必要と考えております。

市の復興計画の中に掲げた『安全と安心を大きな夢につなげる「福島のへそ」のまち・本宮』の利点を生かし、市の復興に取り組んでいるところです。

■住宅除染について
市では、9月上旬より和田地区から住宅の本格的な除染作業を進めております。長屋地区や高木地区も順次除染作業に入り、除染計画に基づき市内全域の住宅や道路などの除染作業を進めます。

■内部・外部被ばく検査について
ホールボディーカウンターによる内部被ばく検査については、妊婦や高校生以下の方々の検査を進めてきましたが、これまでの検査では健康への影響が心配される方はおりませんでした。現在は成人の方を対象に検査を進めており、年度内には全市民の検査を終了したいと考えております。甲状腺検査、ガラスバッジによる検査も同様の結果を得ております。

■農産物の検査について
自家用農作物などの放射性物質の測定については、7月20日に荒井測定所を開所し、現在3カ所でスピーディーな検査を実施しております。さらに、24年産米の全量全袋検査を実施しており、安全で安心な本宮米を全国に届けよう取り組んでいます。

■教育施設の除染と学校給食
教育施設などの除染については、市の放射線健康リスク管理アドバイザー野口邦和先生のご助言により、いち早く校舎やグラウンドなどの除染作業を行いました。また、給食は、給食センターと自校給食を行う学校、保育所で放射性物質測定器を常設し、給食ごとに計測を行い、食の安全・安心を確認しております。

■着実に進む施設整備
7月21日、市の顔となる本宮駅前東口広場が竣工しました。朝夕の交通ラッシュの解消と、皆さまの憩いの空間としてご利用いただいております。また、7月22日には、白沢保健センターに室内遊び場「スマイルキッズパーク」を開設し、毎日多くの子どもたちや保護者の皆さまにご利用いただいております。さらに、架け替え工事を進めておりました菅田橋や名郷橋は、もうすぐ完成し開通を予定しているところでもあります。

■震災以降5社と企業立地協定締結
復興を進める中で、私は市内の企業も元気になっていただく事が大切と考えております。そのような中で、震災以降、新たに5社の企業が市の工業団地へ立地決定していただき、新たな雇用の確保と本宮の元気につながると、心より歓迎しております。

■住み良さ北海道・東北ブロック第3位
東洋経済新報社が毎年公表している「住みよさランキング」が7月に発表され、本宮市はブロックで前回の2位から3位に後退したものの、県内では平成21年から連続1位を維持しています。

おわりに
少しずつですが、着実に復興の光が見えてきています。私は、元気な本宮を取り戻すため、そして、皆さまが安心して住める本宮を目指して、今後も全力で取り組んでまいります。

結びに、市民の皆さまのますますのご健勝をご祈念申し上げますとともに、一日でも早く元気な本宮を取り戻すため力強く前へ進んでまいりますので、さらなるご理解とご協力をお願申し上げます。



美しい景観の本宮市。市内を流れる阿武隈川と遠くに見える安達太良山

【市からのお願い】 広報もとみや号外は、地震災害、放射能問題など市民の皆さんに広く周知するものについてお知らせしています。回覧される場合は、なるべく早く次の方に回覧していただきますようお願いいたします。

和田地区住宅除染スタート!

除染作業にぜひ理解と協力をお願いします

住宅除染実施の流れ

■同意書の提出

除染する建物と土地の所有者またはその管理者の方に、作業員の立入りなどについて同意をいただきます。

■敷地などの測量

除染作業に入る前に、除染面積の把握のため、敷地などの測量を行い、測量図を作成します。

■確認書の取り交わし

作業内容などをあらかじめ建物と土地の所有者またはその管理者の方に確認いただき、確認書を取り交わします。

■放射線量の測定

除染作業の効果を確認できるように、作業前後に放射線量の測定を行います。

■除染作業の実施

- ①雨どい 堆積物を除去
- ②庭 落ち葉除去、表土除去など
- ③庭木 剪定
- ④コンクリート 高圧洗浄など



今年3月に行われた住宅モデル除染。雨どいの拭き取りを行う様子

※表土、砂利などを除去した場合、山砂、砂利を敷きならし、原状に復旧します。

■除去した土砂などの保管

除去した土砂については、市の仮置き場ができるまで、敷地内に一時保管していただきます。

土砂の一時保管の方法は

(回答) 屋根・外壁の除染は？
 (回答) 屋根は、これまでの雨などにより洗い流されたと考えられます。同様に外壁にも沈着していないと考えられます。したがって原則、屋根、外壁の除染は行いません。

説明会に出席した皆さんからいただいた質問とそれに対する回答は次のとおりです。
どのくらい、表土を除去するようになりますか？

(回答) モデル除染の結果から、3cmから5cmの除去で十分に効果が認められることから、同程度の除去となります。また、表土除去は、原則、居住空間から20mの範囲となります。

室内の除染はどうなりますか？

(回答) 室内の除染作業は行いません。室内には放射性物質はほとんどありません。モデル除染の結果から、屋外の除染により室内の空間線量は下がります。

放射能除染・モニタリングセンターからのお願い

和田地区では、除染作業が始まりました。除染作業開始前までに、敷地内の除染作業の支障となるものの片付けをお願いします。

◆問い合わせ先

放射能除染・モニタリングセンター
 ☎63-2682

(回答) 土砂は、耐候性、耐水性に優れたフレキシブルコンテナに入れ、仮置き場に搬入できるようにするまで敷地内で一時保管(地上保管)となります。

通学路などの生活空間の線量低減化

町内会・行政区の皆さんが取り組む

通学路など子どもたちの生活空間の放射線量低減化のために、町内会・行政区の皆さんに線量低減化活動に取り組んでいただいています。

平成23年度は、57団体の皆さんにご協力いただきました。今年度は8月末まで、16団体から申請があり、うち8団体は線量低減化活動を完了しています。

この活動は、町内会・行政区の皆さんが高圧洗浄機、スコップ、雨合羽など除染に必要な資材を購入して、道路沿いの土砂や枯葉を除去し、一時保管場所 で保管するというものです。

これらに係る経費として県の補助金を活用して、各団体に上限50万円の補助金を交付しています。(平成23年度に実施している場合で、平成24年度も実施する場合は上限25万円)。

皆さんのご理解とご協力に感謝いたします。



▲昨年11月に羽瀬石町内会が行った除染作業の様子



▲今年のみずきが丘町内会の除染作業の様子

放射線を目で見るカメラ

市長ガンマカメラを試用

■除染作業で活用を検討

9月5日、高松市長は、放射線除染・モニタリングセンターの職員とともに、放射線量の高低をパソコンの画面などに色別に表示して見ることで、性能を確認するため、和田地内で現地調査を行いました。

これは、住宅除染を実施するにあたり、ガンマカメラが放射線量の高い場所を特定するのに有効かどうか調査を行い、除染作業に活用できるか検討するために、行われたものです。今回試験を行ったポータブルガンマカメラは、ビデオ画像に放射線センサーの画像を重ねることで、放射線の高い場所を特定できるものです。



メーカーの説明を聞いた後、実際に肩からガンマカメラをさげて試験する高松市長(右)

ガンマカメラを三脚で使用する場合のセット



特集

〜もとみやの放射能除染について〜

米の全袋検査始まる



平成24年産米の全量全袋検査に向けて、本宮市地域農業再生協議会は、検査機器4台導入しました。導入された検査機器は、(株)島津製作所製のFOODSEYE（フーズアイ）というベルトコンベア式放射性セシウム濃度検査機で、1分間に4〜6袋の検査が可能です。検査は8月末の早場米から開始され、9月末から10月にかけてピークを迎え、年内の検査完了を予定しています。9月3日までに検査した本宮市産の早場米からは放射性物質は検出されませんでした。

■24年産米全量全袋検査

・本宮第一検査場 2台

(本宮字戸崎16 JAみちのく)

・本宮第二検査場 2台

(荒井字恵向60-1 アルス(株))

テストセンター内

◆問い合わせ先

農政課 農政係

☎33-1111 (内線157)

【お詫びと訂正】

広報もとみや号外No.21の3ページの表に、数値の誤りがありました。お詫びするとともに下表の太枠の部分のとおり数値を訂正いたします。

担当：秘書広報課 広報広聴係 ☎33-1111内線223

農産物のモニタリング状況について

本宮、白沢、荒井の3カ所で行っている農産物の放射性物質の検査結果をお知らせします。検査結果を見ると、山菜類は他の品目に比べ高い傾向にあります。梅は原発事故当時に芽吹いていた葉から吸収されたと考えられ、今年になっても果実から検出されています。そ菜類からはほとんど検出されていません。持込み152品目中、持込み数上位30品目の結果は次のとおりです。

【お願い】

検査品目を持ち込む場合、洗浄しない物または洗浄が不足して土が付着している場合、放射性物質が検出される場合があります。市では、基準値に近いかそれ以上の場合は、再度測定のお願いや、聞き取りをおこなっていますので、ご協力をお願いします。

■市内産自家用農産物 【平成24年4月～7月】

No.	品名	件数	検出数	最小値	最大値	検出値平均値
1	ジャガイモ	280	10	10.88	97.00	22.32
2	梅	224	138	10.00	173.90	34.89
3	タマネギ	180	6	10.51	55.00	21.51
4	タケノコ	155	144	5.00	564.40	114.24
5	キュウリ	154	3	10.98	11.81	11.34
6	クキダチ	89	18	11.01	46.10	18.43
7	キャベツ	79	3	11.83	130.92	52.35
8	フキ	67	26	10.40	404.94	45.82
9	ナス	60	2	10.95	12.48	11.71
10	ニラ	57	20	10.51	60.37	22.39
11	ホウレンソウ	56	16	11.79	139.55	33.59
12	シソ	50	15	12.00	101.00	30.01
13	さやえんどう	45	2	10.57	21.73	16.15
14	わらび	42	27	5.83	187.43	49.93
15	ネギ	42	0	-	-	-
16	ダイズ	40	26	10.19	240.63	60.51
17	山ふき	40	18	10.57	146.90	53.57
18	ダイコン	39	2	10.22	68.60	39.41
19	カボチャ	37	4	10.48	15.10	12.43
20	インゲンマメ	33	0	-	-	-
21	トマト	33	0	-	-	-
22	たらの芽	30	26	16.00	2,005.38	216.79
23	白米	28	3	10.84	91.00	43.95
24	原木シイタケ	26	26	68.82	4,074.00	947.19
25	ささぎ	26	0	-	-	-
26	玄米	23	6	11.00	62.90	25.91
27	梅干	21	14	13.70	466.68	94.97
28	レタス	20	2	16.36	68.71	42.53
29	ニンニク	20	1	10.17	10.17	10.17
30	ブルーベリー	19	5	16.27	282.32	109.12

◆問い合わせ先 放射能除染・モニタリングセンター ☎63-2682